

第3回豊明市高齢者福祉計画策定・推進委員会議事要旨

1 日 時 令和2年7月17日（金）午後2時

2 会 場 豊明市商工会館イベントホール

3 あいさつ

4 議題及び議事概要

(1) 第8期 高齢者福祉計画・介護保険事業計画に係るニーズ調査結果概要について

- ・第8期 高齢者福祉計画・介護保険事業計画に係るニーズ調査実施概要（資料1）
- ・住民健康実態調査、在宅介護実態調査の調査結果（資料2）

を資料を基に説明した。

【質疑応答】

委 員：健康実態に関する概要で豊明団地を取り上げた理由はなにか。

事務局：豊明団地は3年前の時にも特徴的で全体と異なる傾向が出た。二村台の中でも戸建てと豊明団地で世帯構成が違い、豊明団地では高齢者独居と高齢者夫婦が他よりも多い。一方で、最近では二村台の戸建てからの相談も増えている傾向にある。

委員長：独居世帯で高齢者は30パーセント強を占めており、これからの大事な問題である。今回の住民健康実態調査の結果は、次の施策に活かせる。

委 員：団地は老人クラブがない。老人クラブの機関誌を市内で配り、活動周知している。引きこもりがないように活用してもらいたい。

委 員：通院の付き添い、外出で家族の負担が多いと私も感じる。認知症のある人が通院してもコミュニケーションが難しい服薬や医師の説明理解が難しい。ちゃっとも軽度な方に限定され、介護では通院の付き添いが難しいので家族負担が増大している。

委 員：認知症の方の受診の場合、本人の話していることが事実とあっているか不明。そのため家族の付き添いがあるといい。ヘルパーでは付き添い診察まで入らない。親族の方が伝わりやすい。

委 員：認知症のご家族の場合、家族内の関係が悪化するし、家族の間でも思いがばらばらである。これからこのような事例も増えていくので、対応していかなければならない。

事務局：本人家族の関係性悪化は介入支援が難しい。ソーシャルワーク機能・家族支援が重要と思っている。看護連絡協議会より、認知症は家族関係を壊しているという話もある。対人援助の声掛けで結果が分かれるので、対応のスキルアップが必要と感じている。

(2) 第8期計画策定スケジュール及び策定方針について

- ・第8期 高齢者福祉計画・介護保険事業計画 策定スケジュール（資料3）
- ・第8期 高齢者福祉計画・介護保険事業計画 策定方針（骨子）（資料4）

を資料を基に説明した。

【質疑応答】

委員：市住民で、高齢者の一戸建ての維持は手入れ等で大変で、その必要がない団地に引っ越した方がいる。一戸建ては地域の関わりがあったが、団地にはない。そういった方を支えていくことも考えなければならない。

事務局：現状の介護保険の制度として、介護プランに入れないと収入にならない。様々な支援が必要だが、介護サービスではない支援は報酬がもらえない。ケアマネジャーの報酬支援制度のエラーだと考えている。介護保険のみならずさまざまな資源で支える。ソーシャルワーク支援を評価してもらえるように国に発信している。くらしをトータルで支援することを評価してもらえよう市として働きかけている。

委員：健康維持のため、健康診断を受けているが、骨密度をして欲しいとの要望があった。

事務局：保健センターでのがん検診ではあわせて実施している。現在のところ医療機関では難しいが、検討していく。

委員：咀嚼、嚥下機能は体重減少、入院のリスクにつながる。ST、歯科などの計画に組み込めたらいいのではないか。

委員：職能団体として、嚥下機能を支援している。歯科医師会でも取り組みがある。

5 出席委員 12名

6 傍聴者 4名

問い合わせ先 健康長寿課 介護保険係 電話 0562-92-1261